

世帯票の記入のしかた



面積の単位換算早見表

【畝・反・町→㎡・坪】 1反=991.736㎡=300坪(1反=10畝=0.1町)

畝	反	町	㎡	坪
0.1	-	-	10	3
0.5	-	-	50	15
1.0	0.1	-	99	30
5.0	0.5	-	496	150
10.0	1.0	0.1	992	300
20.0	2.0	0.2	1,984	600
30.0	3.0	0.3	2,975	900
40.0	4.0	0.4	3,967	1,200
50.0	5.0	0.5	4,959	1,500
60.0	6.0	0.6	5,950	1,800
70.0	7.0	0.7	6,942	2,100
80.0	8.0	0.8	7,934	2,400
90.0	9.0	0.9	8,926	2,700
100.0	10.0	1.0	9,917	3,000

調査世帯の皆様には、ご面倒をおかけしますが、
皆様の暮らしに関わる統計調査であることをご理解の上、
調査票へのご記入をお願いいたします。
調査票にご記入いただく前に、本書をよくお読みください。

インターネットにより回答する場合は、

『インターネット回答システム利用ガイド』をご利用ください。

調査票の記入内容は、
統計をつくるためだけに使うもので、
その他の目的に使われることはありません。

「統計法」により、調査員をはじめ調査関係者が調査により
知り得た事項を他に漏らすこと、調査票を徴税など統計をつくる
目的以外に使用することは固く禁じられています。



- 記入いただいた内容についての秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入していただくようお願いいたします。
- 記入が終わりましたら、もう一度内容を確認、調査員の指示に従って提出してください。

【a→㎡→ha】 1a=100㎡ 1ha=10,000㎡(1ha=100a)

a (アール)	㎡	ha (ヘクタール)
0.1	10	-
0.5	50	-
1.0	100	-
5.0	500	-
10.0	1,000	0.1
20.0	2,000	0.2
30.0	3,000	0.3
40.0	4,000	0.4
50.0	5,000	0.5
60.0	6,000	0.6
70.0	7,000	0.7
80.0	8,000	0.8
90.0	9,000	0.9
100.0	10,000	1.0

【畳→㎡→坪】 1畳=1.65289㎡=0.5坪

畳	㎡	坪
0.5	1	0.25
1.0	2	0.50
2.0	3	1.00
3.0	5	1.50
4.0	7	2.00
4.5	7	2.25
5.0	8	2.50
6.0	10	3.00
7.0	12	3.50
8.0	13	4.00
9.0	15	4.50
10.0	17	5.00
15.0	25	7.50
20.0	33	10.00
30.0	50	15.00
40.0	66	20.00
50.0	83	25.00
100.0	165	50.00

■ 世帯員メモ欄

氏名	1枚目			2枚目		
	1人目の世帯員	2人目の世帯員	3人目の世帯員	4人目の世帯員	5人目の世帯員	6人目の世帯員

世帯票の何番目に誰のことを記入したかをメモしておいてください。
調査票に記入もれなどがあった場合は、確認のため市区町村からおたずねしますので、その際にご活用ください。

月 日()

午前

午後

時 分ごろ

調査票の提出方法についてご不明な点がある場合や調査票の追加が必要な場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

〈連絡先〉

()

調査の内容、調査票の記入のしかたなどについてわからない点がございましたら、調査員が訪問した際にご質問いただくか、右記のコールセンターにご連絡ください。

総務省統計局全国家計構造調査コールセンター おかけ間違いのないようご注意ください。

☎ 0570-55-0852 受付時間：午前8時～午後10時(土・日・祝日もご利用になれます)

*固定電話からおかけになった場合は、全国一律市内通話料金でご利用になれます。
*携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、03-6626-0960におかけください。(この場合、通常の通話料金がかかります。)

調査票の記入にあたって

- 数字で記入する欄は、「数字の記入例」のように、□の枠内に1文字ずつ、**右詰**で記入してください。
- 文字で記入する欄は、「文字の記入例」のように、□の枠内に1文字ずつ、**左詰**で記入してください。
- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。ボールペンや万年筆は黒色でも使用しないでください。
- 世帯員が5人以上いる場合、現住居以外の住宅又は土地を4か所以上所有している場合は、必要とする枚数の世帯票をもらってください。
- 枠からはみ出したり、小さすぎたりしないように注意し、はっきりと記入してください。

〈○の記入例〉



〈数字の記入例〉



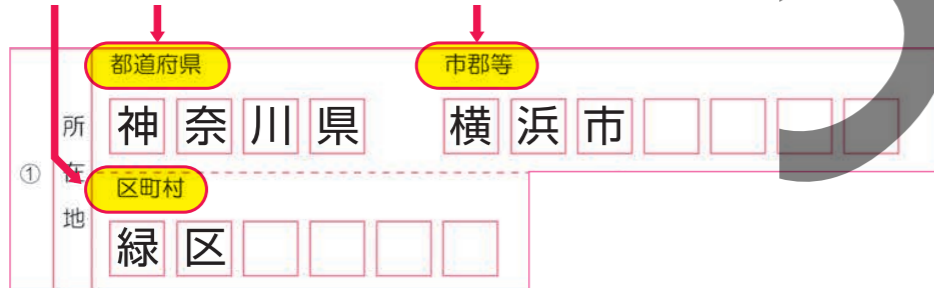
〈年の記入例〉

該当する元号又は西暦を選択した上で、年を記入してください。



〈文字の記入例〉

この箇所は、丸囲みをしないでください。



記入箇所について

世帯票の「II 世帯員について」は**世帯員**について記入し、「III 3か月以上不在の家族について」は**世帯員以外の家族**について記入してください。
 単身赴任や学業のため寮生活をしている家族であっても、週末には帰宅するなど、週に1~2回定期的に帰宅している場合は、「3か月以上不在の家族」とはせず、「II 世帯員について」に記入してください。

世帯の定義

	同居	非同居
① 世帯・世帯員	※家族同様に生活している親戚、住み込みの家事使用人及び住み込みの営業上の使用人も含まれます。	※単身赴任、出稼ぎ、遊学中、長期入院、介護施設入所など
③ 別世帯	※同居していても、食費や生活費が分かれている場合は、別生計となります。	

同居: 別生計 (別世帯) | 非同居: 別生計 (別世帯)

I 世帯の人数について	①
II 世帯員について	①
III 3か月以上不在の家族について	②
IV 単身世帯について	①
V 現住居に関する事項について	①
VI 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について	①
VII 毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について	①

I~II 世帯員について

III~IV 該当者がいる場合に記入する事項について

V~VI 住宅及び土地に関する事項について

VII

毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について

仕事の種類の記入のしかた

世帯の人数について

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方の人数について記入してください。

I 世帯の人数について
 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。 人

(1) 世帯主との続き柄

家計上の主たる収入を得ている人を世帯主とし、1人目に記入してください。

II 世帯員について
 [一緒に住んでいる世帯員について(1)から(9)欄に記入してください]

(1) 男女の別及び世帯主との続き柄
 ○ 男 ● 女
 3か月以上不在の家族はⅢへ
 ● 世帯主
 ○ 世帯主の配偶者
 ○ 子の配偶者
 ○ 世帯主の父母
 ○ 世帯主の孫
 ○ 世帯主の祖母
 ○ 兄弟姉妹
 ○ 世帯主の他の親族
 ○ 住み込みの雇人
 ○ その他

(3) 配偶者の有無

届出の有無に関係なく記入してください。

(2) 満年齢 歳

(4) 就業・非就業の別

- 世帯主の就業状態について記入してください。育児休業や病気休暇などで休業中の人は「就業」としてください。
- 「パート・アルバイト」とは、就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パート」、「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。
- 「家族従業者」とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。給料・賃金をもらっている方は、家族であっても、「雇用されている人」から選んでください。
- 「仕事を探している」とは、現在仕事がない人であって、かつ求職活動*をしている人、事業を始めるための資金、資材、設備などの準備・調達をしている人をいいます。

(3) 配偶者の有無 ● 配偶者あり ○ 配偶者なし

(4) 就業・非就業の別
 ● 就業 ○ 非就業
 ○ 雇用されている人
 ○ 左記以外の人
 ○ 正規の職員・従業員
 ○ 会社などの役員
 ○ パート・アルバイト
 ○ 自営業主
 ○ 労働者派遣事業所の派遣社員
 ○ 家族従業者
 ○ その他
 ○ 内職
 ○ 仕事を探している
 ○ 仕事を探していない

*求職活動…職業安定所(ハローワーク)に申し込む、新聞や情報誌などの求人広告に応募する、労働者派遣事業所に登録する、仕事の紹介を人に頼むなど

(5) ふだんの1週間の就業時間

「(4) 就業・非就業の別」で「就業」としている人について記入してください。就業規則などで定められている就業時間に関係なく、残業時間も含めた普段の1週間の実労働時間について記入してください。副業・内職・家業の手伝い・臨時の仕事・アルバイトなどをした時間もすべて含めます。ただし、自分の家の家事・無報酬の奉仕作業(ボランティア)などをした時間は含めません。

(5) ふだんの1週間の就業時間
 ● 15時間未満 ○ 40~48時間
 ○ 15~29時間 ○ 49~59時間
 ○ 30~34時間 ○ 60時間以上
 ○ 35~39時間 ○ 決まっていない
 ○ 休業中

(6) 就学状況

- 学習塾・洋裁教室・料理教室・英会話教室や職員・社員の研修所、訓練所などは、ここでいう学校には含めません。
- 高等学校、短期大学、大学、大学院については、定時制やこれらの学校の卒業資格が得られる通信教育による課程も含めます。
- 外国の学校については、修業年限等により、それに相当する学校の区分に記入します。

(6) 就学状況
 ○ 学校に在学しているかどうかについて記入し、矢印に従って記入してください
 ○ 在学中の人はその学校について、卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください
 ○ 専修学校・各種学校に在学中又は卒業の人は『世帯票の記入のしかた』を参照して記入してください

在学中 卒業 未就学・その他

○ 小学・中学 ○ 短大・高専・旧制高
 ○ 高校・旧制中 ○ 大学
 ● 専門学校(修業年限)
 ○ 大学院

1年以上2年未満 2年以上4年未満 4年以上

○ 保育園・保育所 ○ 幼稚園 ○ その他(乳児など)

認定こども園に通っている場合はどれに該当するの?

A 認定こども園は、認定こども園○○幼稚園、認定こども園××保育園というように、幼稚園と保育所に分かれています。該当する方に記入してください。

専修学校・各種学校について

専修学校・各種学校については、右表に該当するものがある場合は、それに対応する選択肢に記入してください。なお、右表に該当しない場合は、直前の最終卒業学校(中途退学した人はその直前の卒業学校)について記入してください。

専修学校・各種学校		選択肢
専修学校 専門課程 (専門学校)	高卒を入学資格とするもの 修業年限3年の高等専修学校卒を 入学資格とするもの	専門学校 (当てはまる修業年限も記入 在学は現在の学年ではなく 修業年限を記入)
専修学校 高等課程 (高等専修学校)	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中
各種学校	高卒を入学資格とする修業年限2年以上のもの	短大・高専・旧制高
	中学卒を入学資格とする修業年限3年以上のもの	高校・旧制中

(13) 住居の構造

- 2つ以上の構造を組み合わせた住居の場合は、延べ床面積の広い方の構造を記入してください。

(14) 住居の延べ床面積

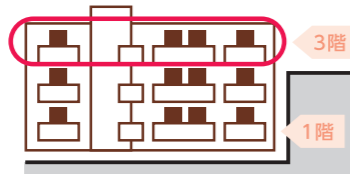
- アパートやマンションなどの共同住宅の場合は、共用部分は含めず、専用部分のみの面積を記入してください。
- 店舗などの併用住宅の場合は、業務用部分を含めた面積を記入してください。
- 住居に附属する離れの面積も含めてください。
- 間貸ししている部分がある場合は、その分を含めた面積を記入してください。
- 間借りしている場合は、借りている部分の面積を記入してください。
- 1住宅に2世帯以上が住んでいるような場合は、1世帯当たりの居住面積を記入してください。
- 寮・寄宿舎等に住んでいる単身世帯で、同室者がいる場合は、1人当たりの居住面積を記入してください。

住居の延べ床面積—うち業務用面積

- 店舗などの併用住宅の場合に、業務用部分のみの面積を記入してください。

(15) 住居の建て方—共同住宅の階数について

- 中2階などは2階としてください。
- 土地に傾斜又は段差がある場合は、土地が低い方を1階と数えてください。



(16) 住居の所有関係—都市再生機構 (UR) の賃貸住宅

- 都市再生機構 (UR) の賃貸住宅とは、いわゆる旧公団 (住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団) の賃貸住宅をいいます。

(20) 現住居以外の住宅

- 共同住宅の一部を所有している場合、「住宅の延べ床面積」には建物全体の面積ではなく、専用部分のみの面積を記入してください。ただし、建物全体を所有している場合は、棟単位の住宅の総延べ床面積を記入してください。2棟以上所有している場合は、それぞれの棟について別々に記入してください。
- 昭和45年以前 (西暦1970年以前) に建築した場合は、年次の記入は不要です。

V 現住居に関する事項について

(13) 住居の構造

木造 (防火木造を除く)

防火木造

鉄骨・鉄筋コンクリート造

その他 (ブロック造、レンガ造など)

(14) 住居の延べ床面積

千 百 十 一

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

うち業務用面積

千 百 十 一

㎡

(15) 住居の建て方

一戸建

共同住宅 (アパート、マンションなど)

3 階建の 3 階に居住

その他 (長屋建・テラスハウスを含む)

(16) 住居の所有関係

持ち家

親の名義の家や子の名義の家に、家賃を払わないで住んでいる場合も「持ち家」に記入してください

民営の賃貸住宅 (借間を含む)

都道府県・市区町村営賃貸住宅

都市再生機構・公社等の賃貸住宅

社宅・公務員住宅 (借上げの社宅を含む)

寮・寄宿舎

(持ち家の世帯)

(17) 地代支払の有無

支払っていない

支払っている

・現住居の敷地の地代について記入してください

(18) 住居の敷地面積

・借地の場合も記入してください

・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分 (区分所有分) について記入してください

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

千 百 十 一

㎡

(19) 住居の建築時期

昭和45年以前 (1970年以前)

昭和

平成

西暦

18 年

・西暦は、4桁で記入してください

(17) 地代支払の有無

- 現住居の敷地の地代について記入してください。

(18) 住居の敷地面積

- 区分所有分がわからない場合は、建物全体の敷地面積 (駐車場や庭を含む) を総住宅数で割った数値を記入してください。
- 農家で敷地と畑などが地続きとなっている場合は、住宅部分のみの敷地面積を記入してください。

(19) 住居の建築時期

- 住居の半分以上を増改築した場合は、その増改築の時期を記入してください。

二人以上の世帯及び「(12) 単身世帯の形態」で「その他」を選択した単身世帯の方は、(20)及び(21)も記入してください。

「(12) 単身世帯の形態」で「単身赴任・出稼ぎ」を選択した単身世帯の方は、(20)、(21)は記入せず、(22)を記入してください。

VI 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

現居以外の住宅又は土地について (20)から(21)欄に記入してください

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

所有している

所有していない

昭和45年以前 (1970年以前)

昭和

平成

西暦

2019年

千 百 十 一

㎡

175

昭和45年以前 (1970年以前)

昭和

平成

西暦

2019年

千 百 十 一

㎡

158

昭和45年以前 (1970年以前)

昭和

平成

西暦

2019年

千 百 十 一

㎡

(21) 現居住地以外の土地 (住宅用) をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

所有している

所有していない

山林・農地等でも住宅を建てる目的で所有している場合は、記入してください

都道府県 市郡等

所在地 敷地面積

東京都 新宿区 141 ㎡

北海道 帯広市 172 ㎡

千葉県 山武郡 九十九里町 155 ㎡

(21) 現居住地以外の土地

- 山林・原野・農地等を所有していて、その一部を住宅建設の目的で所有している場合、「敷地面積」には住宅を建てる目的で所有している部分のみの面積を記入してください。
- 賃貸用アパートなどを建てている敷地に、住人用の駐車場がある場合は、駐車場を含めた敷地面積を記入してください。

【所在地の記入例】

	都道府県	市郡等	区町村
特別区	東京都		新宿区
政令指定都市	神奈川県	横浜市	緑区
市(上記以外の市)	北海道	帯広市	
郡部(町村)	千葉県	山武郡	九十九里町

裏表紙に面積の単位換算早見表がありますので、ご活用ください。

毎月の家賃支払額、毎月の住宅ローンの返済額について

(22) 月々支払っている家賃及び住宅ローン

・家賃と住宅ローンとを分けて月々の支払額を記入してください
 ・月20万円未満の場合は数字を記入してください。月20万円以上の場合は「月20万円以上」の○をぬりつぶしてください。
 ・事業などのための家賃の支払いや住宅ローンの返済については、含まないでください。

(1) 家賃の支払い

※共益費・管理費は含まないでください。

あり → 月 万円 又は ○ 月20万円以上
 なし →

(2) 住宅ローンの支払い

あり → 月 万円 又は ○ 月20万円以上
 なし →

(22) 月々支払っている家賃及び住宅ローン

- 月20万円未満の場合は支払額を、千の位を四捨五入して、1万円単位で記入してください。
- 月20万円以上の場合は「月20万円以上」の○をマークしてください。
- 該当しない項目は、「なし」にマークし、金額欄は空欄のままとしてください。
- ボーナス月の支払額などを記入する必要はありません。

「(7) 仕事の種類」の記入のしかた

(7)と(8)は、世帯主の仕事について記入してください
 非就業の場合は(9)欄へ

(7) 仕事の種類
 ・世帯主が実際にしているおもな仕事の内容を、『世帯主の記入のしかた』を参考に詳しく記入してください

美容師

職業分類

- 勤め先、あるいは自営事業で、世帯主本人が実際にしている主な仕事の内容を記入してください。
- 調理・製造・修理などの技術的・技能的な仕事のほか、経営・販売などの仕事もしている人は、技術的・技能的な仕事の方を記入してください。
- 仕事の内容を十分に言い表す職名がある場合は、例えば、「コック長」、「薬剤師」のように、その職名を記入してください。
- 内職を本業としている人、家事使用人及び営業上の使用人は、その仕事の内容を記入してください。

「(7) 仕事の種類」の記入例

1 事業の経営や管理的な仕事		
記入例	会社社長 工場経営者	総務課長 協合理事

2 技術的または専門的な仕事		
記入例	インテリアデザイナー マッサージ師 特別支援学校教員 弁護士 プログラマー 保育士	電気化学技術者 歯科医師 小学校教員 ケアマネージャー 薬剤師 プロ野球選手

3 事務的な仕事		
記入例	経理事務員 貯金窓口事務員	電子計算機オペレータ 電気メータ検針員 パソコン操作員 タクシー配車係

4 商品の仕入れ・販売の仕事		
記入例	小売店主 自動車のセールス	コンビニエンスストア販売員 保険外交員 販売店員 化粧品訪問販売員

5 調理・接客・サービスの仕事		
記入例	看護助手 飲食店主	理容師 レストランの調理師 レンタルビデオ受付員 劇場案内係

6 家事サービスなどの仕事		
記入例	家事手伝い ホームヘルパー	ベビーシッター 訪問介護員 家政婦(夫) ハウスメイド

7 保安の仕事		
記入例	自衛官 税関監視官	警察官 建設現場誘導員 消防吏員 警備員

8 農畜産物・林産物の育成採取などの作業		
記入例	しいたけ栽培 育林作業 立木の伐採	乳牛飼育者 山林監視人 もやし製造 養鶏人 植木職 造園師

9 水産物の採取や養殖の作業		
記入例	漁労長 真珠の養殖	漁労船舶長 天草の採取人 さし網漁師 水族館飼育係

10 金属製品の製造・加工作業		
記入例	精鋼工 アルミニウム 鋳物工	金属熱処理工 板金設備 オペレータ 金属圧延作業工 アーク溶接工

11 金属製品以外の製造・加工作業		
記入例	医薬品製造工 プラスチック原料 製造工	ゴム加硫工 合成洗剤製造工 写真製版工 婦人・子供服 仕立工

12 機械器具の組み立て作業		
記入例	自動車エンジン 組立工 時計調整工	光ファイバー ケーブル製造工 光学機械器具 組立工 輸送機械組立 オペレータ コンタクトレンズ 研磨工

13 機械の整備・修理作業		
記入例	自動車整備工 時計修理工	事務用機械修理工 機械分解工 航空機修理工 電車修理工

14 製品の検査作業		
記入例	木材検査工 溶接検査工	製品検査工 陶磁器検査工 プラスチック製品 検査工 製本検査工

15 機械の検査作業		
記入例	電気機械部品 検査工 定置機関検査工	自動車検査工 工作機械検査工 航空工場検査員 鉄道検車手

16 塗装や写真現像などの生産に関連したまたは類似する技能的な仕事		
記入例	吹付塗装工 製図工	CADオペレータ 写真焼付工 映写技師 機械製図工

17 電車・自動車・船舶・飛行機などの運転・操縦、機械運転の仕事		
記入例	貨物船機関長 クレーン運転士 ロードローラの 運転士	トラック運転手 航空機操縦士 バスガイド ボイラー・ オペレータ 電車運転士 旅客船機関士

18 建設・土木作業・電気工事の仕事		
記入例	大工 左官見習い	屋内電気工事人 土木作業員 水道配管工 鉄道保線作業員

19 鉱物の採掘・採取などの作業		
記入例	石切出作業員 支柱員	砂利採取人 坑内運搬員 トンネル掘進員 鉱山発破員

20 運搬・清掃・包装などの作業		
記入例	新聞配達員 宅配便配達員	ビルの清掃人 倉庫作業員 荷造り作業員 郵便外務員

I ~ II 世帯主について

III ~ IV

該当者がいる場合に
記入する事項について

V ~ VI

住宅及び土地に関する
事項について

VII

毎月の家賃支払額、
返済額について

仕事の種類の記入のしかた